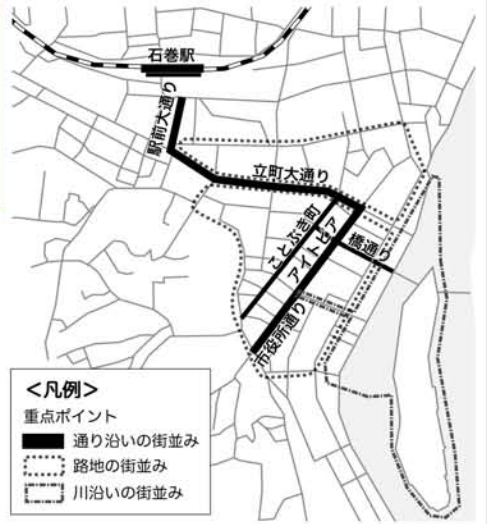


まちなかだより

第4号

石巻中心市街地復興まちづくり情報誌



“石巻街並みづくりの道しるべ(案)” (街なか景観デザインコード)が作成されました!!

徐々に明らかになる石巻の中心市街地!?

久しぶりの発行となってしまいました。すみませんでした。さて、街並み部会は第12回目の部会が4月12日に開催されました。これまで話し合ってきた街並みづくりのルールは“石巻街並みづくりの道しるべ”と命名されました。魅力ある石巻の中心市街地をこれからどうつくっていかばいいか、まだまだ荒い“道しるべ”ではありますが、これをもとに多くの方々と今後、中心市街地の街並みのあり方について話しあっていきたいと思えます。まちなかだよりでは、この“石巻街並みづくりの道しるべ”について、複数回に分けてお知らせしていきます。

石巻街並みづくりの道しるべ

街並みづくりの基本方針

街並みのゾーニング

重点ポイントの街並みづくりのルール

“街並みづくりの道しるべ”に基づき

- ・新たな建物の建築や土地の活用を進める。
- ・ルールの達成が難しい建物の建築や土地利用について話し合う。
- ・すでにある店舗や土地の管理を進める。
- ・地区の実情に応じたより細かな独自のルールづくりを進める。

街並みづくりの道しるべの構成と使い方

中低層の建物を基本とした街並みづくりへ

街並みづくりの基本方針、街並みのゾーニング（エリア毎の街並みの方向性）については、前回まででお知らせしました。今回は、重点ポイントの街並みづくりのルールについてお知らせします。

「街並みづくりの重点ポイント」とは？
中心市街地の街並みを作っていく上で、まずはじめに考えるべき街並みづくりの中心となるところを指しています。

街並み部会では、重点ポイントとして「通り沿い」「路地」「川沿い」の三つのポイントを指定し、それぞ

れにおいて魅力的な街並みづくりを進めていくために、注意すべき点について意見を出し合いました。ここでは、「通り沿いの街並みづくりのルール」についてお知らせします。

街並み部会では、以下の立面図のように5つの項目に街並みづくりのルール案をまとめました。通り沿いの建物高さは中低層（4～5階）を基本とし、それ以上は通りから引いたところで高くすること。1階部分は非居住とし、通りを歩いている人が楽しめるような店づくり、駐車場の設置を心掛けていきたい、という内容になっています。



- 1. 安全安心をつくる**
 - 1階部分は非居住の用途としましょう。
 - 避難路や避難所のサインを設けましょう。
- 2. 建物正面**
 - 歩行者に圧迫感を感じさせないために少なくとも高層部（5～6階以上）はセットバックさせましょう。
- 3. 建物の高さ**
 - 通りに面する部分は中低層（4～5階まで）としましょう。
- 4. 空地・建物壁面**
 - 空地は芝生を植えたりするなど、憩いの場として活用していきましょう。
- 5. 駐車場**
 - 通り沿いは原則として駐車場は設置しないようにしましょう。難しい場合は、通りに面する設えを工夫しましょう。
 - 居住者用の駐車場の入口は裏通りに設けるようにしましょう。

プチ市民登録制度できる!? ～ボランティアの方々への感謝を形に～

下写真:石巻プチ市民証(例)。これがあれば
プチ市民あらではの特典がいろいろと受け
られるかも!?

石巻市民15万人+石巻プチ市民15万人

LSB部会では、「漁業・食文化」「生活・歴史文化」「新たな文化の創造・情報発信」の3つの分科会に分かれ、4月16日までに計8回の会合を開催してきました。「新たな文化の創造・情報発信」分科会では、震災後一年がたち、ボランティアの方々をこれからは“プチ市民”として迎えてはどうか?といった議論をしてきました。プチ市民の概要は以下の通りです。

■石巻プチ市民のコンセプト

誰もが、自分の生活範囲の中で、プチ主体性によって石巻市の復興にかかわることができ、それを少しだけ実感できる。

■石巻プチ市民の定義

自分自身の生活範囲の中で、ちょこっと主体的に石巻の復興やまちづくりに関わる人たちのこと。

■石巻プチ市民の権利と義務

例) 石巻プチ市民は、石巻から発信される多くの情報をいち早く受け取ることができる。

例) 石巻プチ市民は、年に一回石巻市に遊びに行く。

■石巻プチ市民登録

例) 石巻プチ市民証は常に携帯しそれを提示することで、石巻市内各所で特典を受けることができる。

例) 石巻プチ市民証を通じて、石巻の情報発信や共有を行う。…などなど他にもいろいろと検討中です。



雄勝の浜へ、いざワカメ漁を見学!?

「漁業・食文化」分科会では、石巻の隠れた名産品として「ワカメ」に着目しています。どのようにすればワカメをもっと広く知ってもらい、もっと美味しく食べてもらえるかについて検討を行っています。3月には部会のメンバーで、実際にワカメ漁に参加し、浜や獲れたてのワカメを見てみよう!としたところ、あいにくの大雪…。ワカメ漁を実際に体験することは出来ませんでした。じっくり焦らず、調査を重ねながらまずは“ワカメマップ”の作成から、ワカメの魅力を引き出していきたいと思います。

まちなかフォーカス

今回ご紹介するのは、「石巻復興マルシェ」。北上川沿いの旧丸光跡地に、北上川のロケーションを楽しめる仮設市場として、5月28日(月)にオープンします。出店する店舗は現在募集中ですが、店舗のほかに、イベントが開催できるステージ、バーベキューコンロなど石巻を楽しめる場所として、現在急ピッチで準備を進めています。秋には石ノ森萬画館のリニューアルオープンも予定されており、石巻らしさの源である北上川を活かしたまちづくりが着々と進められています。この地区は、堤防整備とあわせた「生鮮マーケット」が計画されている場所でもあります。もちろん、いざというときの避難路の指定や避難訓練をしっかりと行っていく必要急ピッチで準備中の“石巻復興マルシェ”があることは言うまでもありません。



次回の街なか協議会

[全体会] [街並み部会]
日程が決まり次第ご案内します。

[事業推進部会]
個別での事業勉強会となります。全体での部会開催が決まり次第、お伝えします。

[LSB部会]
5月10日(木) 18時30分～
街づくりまんぼう仮事務所1階

発行：コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

発行日：平成24年4月24日

【お問い合わせ先】 (お気軽にご意見・ご質問をお寄せ下さい)

コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会 事務局
石巻市中央2丁目5-7 (株)街づくりまんぼう

TEL：0225-23-2109 FAX：0225-23-2203

Email：info@man-bow.com

2月以来久しぶりの発行となってしまう、大変失礼いたしました。震災から1年を迎え、それぞれの部会でさまざまな提案がされてきています。それらはまだまだ案でありたたき台です。一部の人達が進めているやつでしょ、と思われるかもしれませんが。是非、他の人のことと思われず、今後の石巻のまちに興味をもたれたならば、街なか協議会や、その他のまちづくりの活動に参加し、魅力ある石巻のまちをともに再興していきましょう。